

茅ヶ崎市指定管理者選定等委員会委員による事前意見の回答について

松林コミュニティセンター

委員事前意見		回答
【松林 コミュニティセンター】	評価できる点	・独自の提案として、地域在住の外国人に対する生活支援や、歴史豊かな地域に伝わる祭囃子・神輿甚句などの郷土芸能の継承支援など、地域の文化と多文化共生に配慮した具体的な取組を評価します。 ・待望のコミュニティセンター開設に向け意気込みを感じられる提案である。 ・他コミセンの実施状況を踏まえたような地域への呼びかけ、公平利用、まちぢから協議会とコミセン委員会、事務局の連携人材の活用等の計画は大変期待できる。 ・茅ヶ崎市の求める事項に適切に応える計画であり、諸規程(案)はおおむねしっかり検討されている。 ・提案を求めている事項に対して前向きな提案をしている点。 ・まちぢから協議会の特徴と当該地域の地域性を土台とした、その地域ならではの安定感ある運営が期待できます。運営にあたり、まず地域の関係団体との連携が予定されており、その上に市民団体との協力が構想されている点は、コミュニティセンターの「開かれた」関係形成が予想され、望ましいことと思われます。 ・組織が「松林地区まちぢから協議会」の中に「コミュニティ管理運営委員会」を設置し、自治会、地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、青少年育成推進協議会、体育振興会など松林地区で活動する各種団体との連携が図られており、施設の活用が期待できる。 ・「コミュニティ管理運営委員会」の役員も「松林地区まちぢから協議会」の委員から選任され、両者の一体運営が期待できる。 ・提案を求める事項アでは、地域の居場所作り、年中行事の開催、地域在住外国人への支援等、様々な取り組みが行われる提案があり、きめの細かい活動が期待できる。 ・提案を求める事項イでは、松林地区で開催される「祭囃子」や「神輿甚句」といった地域文化に根ざした取り組みも提案されており、地域の文化継承への貢献が期待できる。
	要望する事項 期待すること	案として作成した緊急時対応マニュアル等について、開館までの間に、各施設の意見を踏まえ内容を更新し共有するとともに、防災訓練の共同開催など、有事の際に適切かつ迅速な対応が行えるよう連携強化に努めてまいります。 ホームページやSNSを活用した情報発信や、若い世代の興味関心を引くような企画事業を実施することにより、幅広い年齢層の利用を促進します。また今後、施設運営を行うに当たって、どのような年齢層、用途による利用が多いのかなど、利用状況の把握に努め、それぞれの利用者ニーズにあった施設運営ができるよう努めてまいります。 他のコミセンへの視察やヒアリングなど、様々な機会を通じ役員の知識を深めるとともに、各種業務の研修等を行い、事務員の誰もが適切に業務を遂行できるよう人材育成を行います。また、定期的に事務局会議を行い、日常業務における課題点等を共有し、利用者が快適に利用できるよう努めてまいります。 厚生労働省が公開している研修動画等をもとに、相談窓口担当者としての基礎知識や対応方法などについて、研修やマニュアルの作成等を行い、適切な対応が図られるよう努めてまいります。 それぞれの施設の設置趣旨を十分に理解し、利用者にわかりやすい利用案内を行うとともに、地域の交流を深めるような企画事業を実施してまいります。 引き続き開設に向けて、当協議会内での協議を行うとともに、遅れ等が生じないよう適切に準備を進めてまいります。 開館初年度は、まずはコミュニティセンターの管理運営を適切に行うことを優先することとし、地域交流カフェについては、段階的に飲み物の提供からスタートし、令和9年度から自主事業として、開始できるよう運営方法等について検討を進めております。なお、指定管理料とは別会計での対応を予定しております。また、価格帯については実費程度とするため、収益事業を行う予定はありません。 企画事業として、コミセンまつり(年1回、秋頃)をはじめ、祭囃子等の発表会、ニュースポーツ(ファミリーバドミントン、モルック、ドッチビー等)の体験教室等の実施を考えております。なお、開館に向け、他のコミセンでの企画事業の実施状況等も参考にしながら、時期や回数等について検討し、魅力的な内容となるよう事業の企画運営を行ってまいります。 現在、運用を行っている松林地区まちぢから協議会のホームページに新たにコミュニティセンターの案内ページを設けるとともに、コミセン広報部会を立ち上げ、様々な媒体を活用した広報活動を行う予定です。 警備体制として、防犯カメラや機械警備システムを導入する予定です。開放的で利用しやすいコミセンとなるよう出入口を多く設けていますが、開放性と安全性の両面に配慮し、現時点では、通常時は必要最小限の出入口の開放に留め、多くの事務員が常駐するイベント実施時は全てを開放するような、メリハリを付けた運用を想定しています。 松林コミュニティセンターの設計を行うにあたって、松林地区まちぢから協議会のメンバーを中心に、コミセン研究会を立ち上げ、コンセプトを議論しました(別紙「コミセン研究会まとめ」参照)。今後は、コミセン研究会の活動において整理した松林コミュニティセンターのコンセプトについて、運営の中で具現化できるよう目指してまいります。 各種地域団体と連携を図りながら、様々な企画事業等を展開し、地域活動の拠点としての役割が果たせるよう努めてまいります。 会計担当者を中心に、最新の物価変動等に注視しながら経費削減に努めるとともに、サービス低下を防ぐため、事務の効率化や事務員同士の情報共有を密に行うなど、バランスの取れた施設運営に取り組んでまいります。